

国立病院機構熊本医療センター

くまびょうNEWS



持続可能な
救命救急センターを
目指して

救命救急センター長 渋沢 崇行

特集

救命救急センターのご紹介

- VOICE
- 研修医レポート
- 医学シリーズ 小児科
- 研修のご案内
- くまびょう TOPICS
- 外来担当医名簿

患者さまをお待たせしないためにご紹介は、
外来紹介予約センターをご利用ください。



熊本医療センター
地域医療連携センター長
菊川 浩明



096-353-6565
096-353-6566

FAX 096-353-6563

受付 平日 8:30 ~ 17:00

国立病院機構熊本医療センター 外来紹介予約センター

独立行政法人国立病院機構
熊本医療センター

National Hospital Organization Kumamoto Medical Center



熊本医療センター 検索 ホームページ QR コード▲

基本理念

最新の知識・医療技術と礼節をもって、
良質で安全な医療を目指します。

運営方針

1. 良質で安全な医療の提供
4. 教育・研修・臨床研究の推進
2. 政策医療の推進
5. 国際医療協力の推進
3. 医療連携と救急医療の推進
6. 健全経営

患者様の権利

1. 良質かつ適切な医療を公平にうける権利があります
2. ご自身の医療について理解しやすい言葉と方法で十分な説明と情報を受ける権利があります
3. 病院から説明と情報を得た上で、自らの意志で治療を受け、あるいは選択し、拒否する権利があります
4. 自分の診療記録の開示を求める権利があります
5. セカンド・オピニオンを求める権利があります
6. 個人としての人格の尊重とプライバシーの保護を受ける権利があります

特集 救命救急センターのご紹介

当院の救命救急センターは最重症の病態や疾患（心肺停止・敗血症・急性冠症候群・脳卒中・外傷 / 熱傷・中毒・熱中症 / 低体温症）に24時間365日対応し、熊本県民の皆様最後の砦として機能しています。2003年に認可されて以来、20年にわたり全職員を挙げて救命救急医療に取り組んで参りました。2023年に私（渋沢）が着任し、重症集中治療・防災消防ヘリコプター「ひばり」による病院前診療・外傷 / 熱傷診療を三本柱として、それに当院の特色である精神科救急を加え、診療・教育・研究にバランス良く取り組んでいく所存です。

当院の救急患者さまの約3割は地域の診療所・訪問診療先・二次医療機関からのご紹介です。従来通り、重症患者さまにはいつでも対応いたしますのでご連絡をお待ちしております。遠方であっても熊本県内であれば「ひばり」で病院間搬送が可能ですのでぜひご紹介ください。近年、救急患者さまの高齢化が全国的にトピックスとなっており当院も直面している課題の一つです。ACP(Advance Care Planning)の普及に取り組みつつ、ご高齢であっても治療可能な病態であれば全力で積極的に救命を目指して参ります。

救命救急センター病棟は救命病棟44床にICU6床を加えた50床で運用しており、全国でも有数の病床数を誇ります。ICUでの重症COVID-19診療も継続してお引き受けしております。熊本地震から8年を迎えるに当たり、当時の災害医療経験者も減ってきております。日本DMATをはじめとする災害医療についてもその火を絶やすことなく準備と訓練を行って参ります。2023年秋には当院5例目の脳死下臓器提供を行いました。これらの取り組みを続けることで、若手医師・コメディカルスタッフが自然と当院へ集まってくれる好循環が生まれれば、持続可能な救命救急センターの姿が見えてくると考えております。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

救命救急センター長

しぶさわ たかゆき
渋沢 崇行

専門分野

救命救急、集中治療、外傷 / 熱傷診療

専門医・所属学会など

日本救急医学会指導医
日本専門医機構認定救急科専門医
日本救急医学会学会主導研究評価特別委員会委員
日本集中治療医学会 専門医
日本外科学会 専門医
日本熱傷学会 専門医
日本外傷学会 専門医・評議員
日本腹部救急医学会認定医
日本 Acute Care Surgery 学会認定外科医
日本高気圧潜水医学会 専門医
社会医学系専門医協会 専門医・指導医
日本蘇生学会 指導医
インフェクションコントロールドクター
日本化学療法学会 抗菌化学療法指導医
日本外科感染症学会 外科周術期感染管理認定医 / 教育医
日本組織移植学会 認定医
JATEC インストラクター
PBEC インストラクター
JPTEC インストラクター
ITLS Advanced Instructor
日本救急医学会認定 ICLS ワークショップディレクター
厚生労働省 DMAT 隊員（統括）
フライトドクター



VOICE

登録医の声



医療法人 FSLC
フォーシーズンズ
レディースクリニック

院長 **たばた あい**
田畑 愛



◆貴院のアピールをお願いします

熊本市の中心部、閑静なオークス通り沿いのグランガーデン熊本ビル2階、38坪という小さなクリニックです。お向かいに小山内科クリニック、お隣には昨年4月にくまもとプレストクリニックがオープンし、賑やかなフロアとなっております。フォーシーズンズという名前は、女性の一生を「思春期、成熟期、更年期、老年期」という4つのステージと捉え、日本の美しい四季のように、そのひとつひとつのステージで女性の充実した毎日をサポートできるクリニックでありたいという願いから名付けました。

◆先生の趣味・お勧めスポットを教えてください

残念なことに、趣味がないのが悩みです。気づけば4人の子供も達は皆、家を出て、その分やっとな自分の時間が持てるようになったはずなのに、クリニックの経営や仕事に追われる毎日。一番良くないパターンですね。「ひとり働き方改革」を模索しています。したいことは山ほどあるのですが… あ!そうです!「したいことを妄想するのが趣味」です(笑)

◆当院へのご要望をお聞かせ下さい

熊本医療センターには、主に悪性疾患の患者さまの紹介先として部長の高木みか先生をはじめ婦人科の先生方には本当に世話になっております。放射線科の先生方にはMRIの読影で、また婦人科以外の不定愁訴を訴えて受診する方には、総合診療科の先生にお願いし助けていただいております。今後もしも迷惑をおかけすることと思いますが、どうぞ宜しくお願い致します。

【診療科目】

婦人科一般

【診療受付時間】

9:00 ~ 12:00 14:00 ~ 17:00

【休診日】

水曜・日曜・祝日

【住所】

〒860-0846 熊本市中央区城東町4番7号
グランガーデン熊本ビル2階(ホテルキャッスル隣)

【TEL】

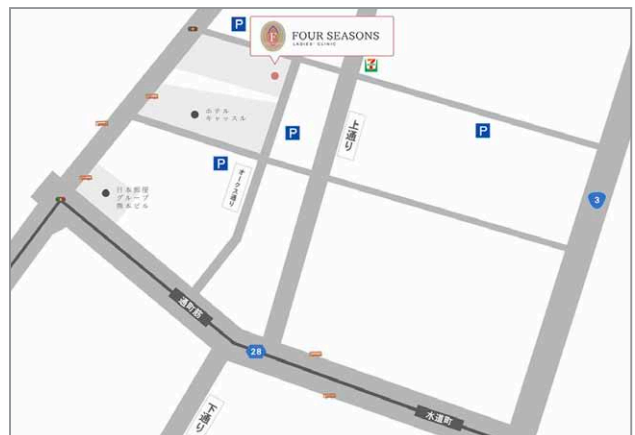
096-278-7870

【FAX】

096-278-7871

【HP】

<https://fourseasons096.com/>





No. 298

医学シリーズ

小児科 (No.9)

最近のトピックス

手足口病について

国立病院機構熊本医療センター
小児科医師

わたなべ
渡邊

すぐる
優



手足口病とは

手足口病（てあしくちびょう）は、主に幼児に多い病気で特に5歳以下が90%を占めますが、成人でも感染することがあります。どの季節でも見られますが、特に夏に流行しやすい疾患です。のどや口の中の粘膜、手足に小さい水疱性の発疹ができることが特徴的です。原因はエンテロウイルス71型やコクサッキーウイルスA6、A16型などのウイルス感染で、基本的には治りやすい病気です。

感染経路

感染経路は、手足口病にかかった人の、咳やくしゃみに含まれるウイルスを吸い込むことによって感染する場合（飛まつ感染）と、やぶれた水疱や便に排泄されたウイルスが、手を介して口や眼の粘膜から感染する場合（接触感染、糞口感染）があります。ウイルスの感染力は症状が現れてから最初の1週間が最も強いですが、便へのウイルス排泄は症状がなくなっても2-4週間継続します。そのため保育施設や幼稚園などで集団感染しやすいです。

手足口病の症状

手足口病はウイルスに感染してから3-5日後にのどの痛みや微熱などの症状が出現します。2日程

度遅れて手のひら、腕、脚、足の裏、口の中の粘膜に2-3mmの水疱が出現します。水疱の数は個人差があり、腰やお尻にも出ることがあります。発熱も見られますが、高熱になることは稀です。診断は症状や周囲の流行状況で判断します。通常は7-10日以内に水疱は消え、あとも残りません。熱は多くの場合2日間程度で解熱します。ごく稀ですが、髄膜炎や脳炎、心筋炎、急性弛緩性麻痺を合併することがあります。本人の意識状態が悪い時や倦怠感が強い時、けいれんを起こした時は病院にご相談ください。

手足口病の治療

手足口病は基本的に自然に治るため、症状に応じた治療を行います。熱や倦怠感が強い場合は解熱剤を処方します。入院することは稀ですが、のどや口の痛みが強くて飲食ができない場合や合併症を発症した場合は入院になることもあります。

手足口病の予防

学校保健安全法では、登園や登校に関して特に出席停止期間は定められていません。症状が改善し本人が元気であれば登園登校は可能ですが、症状が改善した後もしばらく便などにウイルスが排泄されるため、手洗いはしっかりと行うことが大切です。なお、感染しても無症状でウイルスを排泄している人もいるため、発病した人だけを長期間隔離しても集団感染の予防にはならないと考えられています。



くまびょう TOPICS

1/18 (木) | 能登半島地震 看護班について **看**
1/21 (日)

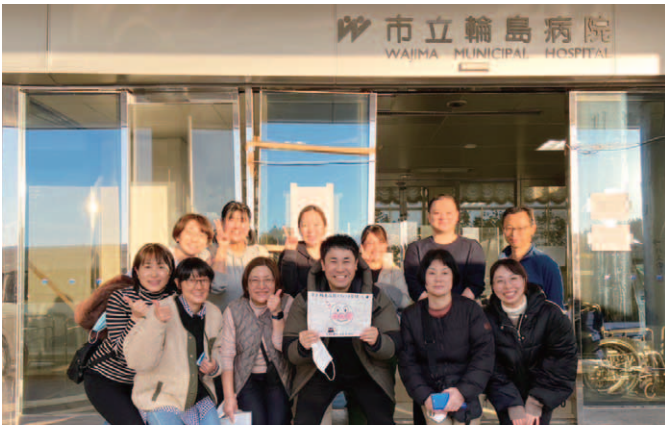
【筆者】7東病棟看護師：江頭 佳那



私は、厚生労働省依頼の災害支援ナースとして市立輪島病院で支援活動を行いました。病棟には感染症、体動困難、食事摂取困難を背景に施設や避難所での生活が難しい患者さまが入院されていました。病院職員の方々は、自ら被災しながらも病院や避難所で生活しながら働かれており、限りある資源の中で最大限の医療を行っている現状を目の当たりにし、「病院職員の方々が少しでも休息を取れるようにしよう」「断水による影響を少しでも減らそう」をテーマに私たちにできる事は何か考えました。通常の看護業務に加え、感染予防のために念入りに清拭ケアや口腔ケア、環境整備を行い、ADL低下予防のためにリハビリを行いました。また、支援ナースで協力し上下水道再開時に気持ちよく使用できるよう水回りの清掃、一部半壊した建具の整備を行いました。患者さまや病院職員の方から「出会えてよかったです。来てくれてありがとうございます」「頑張る活力ができました」との言葉を頂き、被災し大変な中でも優しく温かい皆様の言葉に様々な思いがこみ上げました。この経験を通して、自身における看護環境がいかに恵まれていたかを痛感し、看護とは医療だけではなく生活に寄り添い、支えていくことだと改めて感じました。

今回の派遣に際し、準備や調整を頂き、送りだして下さった方々のサポートに感謝しております。そして、1日でも早く能登の方が安心して過ごせる日がくるよう心から願っております。

【場所】市立輪島病院



1/24 (水) | 能登半島地震 医療救護班について **医**
1/26 (金)

【筆者】循環器内科医師：木村 優一



2024年1月1日、石川県能登地方を震源とする最大震度7の地震が発生しました。

今回、国立病院機構(NHO)本部の要請を受け、熊本医療センター医療救護班として被災地支援を行いました。山田 薬剤部調剤主任、山下 ICU看護師、上野 5南病棟看護師、村上 事務部契約係の計5人をチームメンバーとし、金沢での前後泊とともに1月24日から26日の3日間、輪島地域で活動を行いました。木造家屋がひしめく輪島地域の被害は甚大で、地震から3週間が経過した時点でも、数千人の方が避難所生活を強いられている状況でした。

計7か所の避難所を訪問し、被災者の体調確認や診察、災害処方箋の発行を行い、さらに避難所の環境改善のための提案を行いました。

被災地の復興を心から願うとともに、今後も継続した支援が必要になると考えます。

【場所】輪島地域



Medical Intern Report 研修医レポート

臨床研修医

うらかわ こ
浦川 ゆめ子



臨床研修医2年目の浦川ゆめ子と申します。熊本市出身で熊本高校卒業後、令和4年3月に栃木県にあります自治医科大学を卒業致しました。卒後は熊本大学病院初期研修プログラムに所属し、1年間の熊本大学病院での研修を経て、今年度より熊本医療センターで研修をさせて頂いております。

私の卒業した自治医科大学は地域医療に貢献するために設立された大学で、地域枠と同様、学費が免除される代わりに医療資源の少ないへき地で勤務する義務年限を全うする必要があります。早いもので2年間の初期研修も修了に近づき、来年度からへき地勤務を控え緊張が募ってきている今日この頃です。

しかし、今年度の熊本医療センターでの1年を振り返ると、指導医の先生方からどのような規模の病院でも通用する医療をご指導頂きました。特に4~6月の救急救命部での研修は実り多いものとなりました。救急外来研修はとても慌ただしく過ぎていきますが、多くの症例の救急対応を経験する中で、二次心肺蘇生法(ACLS)を迅速に行うことができるようになりました。また、勤務後に指導医の先生方と振り返りを行うことで、必要な処置・検査・治療の選択や患者の病態への理解も深めることができました。さらに、救急外来から各診療科へ治療を引き継ぐ際にも、診療科の垣根を超えてご指導して頂くことが多く、学びとなりました。この経験を忘れず、来年度からの勤務に活かしていきたいと思います。

最後となりますが、ご指導頂きました各診療科の先生方、スタッフの皆様は心より感謝申し上げます。残りわずかとなりましたが、日々の研修に精一杯励んで参りますので今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

臨床研修医

やまだ ともひろ
山田 智博



こんにちは。研修医1年目の山田智博と申します。福岡大学医学部医学科を卒業し、4月より熊本医療センターで初期臨床研修を開始しました。研修開始から9ヶ月程度が経過しました。

私の研修生活は呼吸器内科から始まりました。胸腔穿刺や胸腔ドレナージなど基本的手技の学習に大変苦労しました。呼吸器内科特有の、気胸に対する癒着療法や肺癌治療に参加させて頂きました。2番目の診療科は小児科でした。ITPの治療や小児白血病の治療に参加させて頂きました。3番目の診療科は精神科でした。精神科救急ならびに複雑な社会背景を持つ患者様の診療に参加致しました。4番目の診療科は消化器

内科でした。上部および下部消化管内視鏡の検査に参加し、消化管の潰瘍や癌に対しての治療に参加させて頂きました。5番目の診療科は循環器内科でした。県内各所から搬送される急性冠症候群等に対する緊急カテーテル治療および多彩な心疾患に対する治療を非常に熱心にご指導いただきました。6番目の診療科は救急救命科でした。熊本県全域より搬送されるあらゆる疾患の患者様の情報収集・問診・身体診察・検査を実施し、評価し、治療方針を決定する経験を積みました。現在は7番目の診療科である外科で研修を積んでいます。胆嚢炎や各種悪性腫瘍に対する予定手術および急性腹症に対する緊急手術に参加しました。術前管理、手術および術後管理について深く学習しました。

全診療科において、患者様および全医療スタッフから熱心な指導を頂いております。皆様のお役に立てるよう精進して参ります。これからもどうぞよろしくお願い致します。

2024年3月 研修のご案内

第145回 国立病院機構熊本医療センター
クリティカルパス研究会

日時▶ 3月6日(水) 17:30～18:30
場所▶ 国立病院機構熊本医療センター研修ホール

二の丸モーニングセミナー

日時▶ 3月7・14・21日(木) 8:15～8:45
場所▶ 国立病院機構熊本医療センター研修ホール

令和5年度
第2回 開放型病院連絡会

日時▶ 3月9日(土) 18:30～
場所▶ 国立病院機構熊本医療センター研修ホール

第36回 熊本PEECコース【WEB】

日時▶ 3月10日(日) 9:00～13:00

第201回 救急症例検討会

日時▶ 3月13日(水) 18:00～19:30
場所▶ 国立病院機構熊本医療センター研修ホール

「悪性疾患の救急」

第70回 診断と治療－最新の基礎公開講座－
〔日本医師会生涯教育講座2.5単位認定〕

日時▶ 3月16日(土) 15:00～17:30
場所▶ 国立病院機構熊本医療センター研修ホール

「関節痛」

座長 熊本機能病院整形外科部長・人工関節センター長・臨床研究室長 高橋 知幹 先生

(1) 肩関節痛

国立病院機構熊本医療センターリハビリテーション科部長 前田 智

(2) 膝関節痛

国立病院機構熊本医療センター整形外科副部長 中馬 東彦

(3) 股関節痛

熊本大学病院整形外科助教 上原 悠輔 先生

第300回 月曜会(内科症例検討会)
〔日本医師会生涯教育講座1.0単位認定〕

日時▶ 3月18日(月) 19:00～20:00
場所▶ 国立病院機構熊本医療センター研修室2

1 循環器内科からの一例 2 血液内科からの一例

小児科火曜会【WEB配信あり】

日時▶ 3月26日(火) 19:00～21:00
場所▶ 国立病院機構熊本医療センター研修室1

研修へのお問い合わせはこちら
国立病院機構熊本医療センター
地域医療研修センター (096) 353-3515 (直通)

研修センター
QRコード▶



患者さまをお待たせしないために

ご紹介は、外来紹介予約センター

受付 平日 8:30 ~ 17:00

をどうぞご利用ください。

096-353-6565 096-353-6566

FAX 096-353-6563



熊本医療センター
地域医療連携センター長
菊川 浩明

令和6年3月外来担当医名簿

国立病院機構熊本医療センター



診療科		月	火	水	木	金	
総合医療センター (内科)	総合診療	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	
	血液	河北 敏郎 杉谷 浩規	原田 奈穂子 中村 貴久	古川 翔大 井上 佳子	日高 道弘 河北 健郎	原田 奈穂子 窪田 晃	
	糖尿病・内分泌	西川 武志 (午前新患) 西田 周平 (午前再診)	西田 周平 (午前新患) 西川 武志 (午前再診)	西川 武志 (午前新患) 井手口 拓弥 (午前再診)	木下 博之 (午前新患) 最勝寺 美美 (午前再診)	井手口 拓弥 (午前新患) 木下 博之 (午前再診)	
	呼吸器センター	名村 亮 原 英記 (院内コンサルト)	小野 宏 熊大医師 (院内コンサルト)	小野 宏 原 英記 (院内コンサルト)	名村 亮 原 英記 (院内コンサルト)	小野 宏 原 英記 (院内コンサルト)	
	感染症内科		小野 宏	小野 宏		小野 宏	
	腎センター (腎臓内科)	梶原 健吾	吉井 隆一	中村 朋文	東 大樹	富田 正郎	
	腫瘍内科		榮 達智	榮 達智 磯部 博隆	境 健爾 (第1・第3・第5木曜のみ)	榮 達智	
消化器病センター (消化器内科)	診察	1 診	石井 将太郎	杉 和洋	杉 和洋	向坂 健佑	
		2 診	松山 太一	中田 成紀	石井 将太郎	中田 成紀	
		3 診	山本 祐弥	向坂 健佑	佐々木 大亮	楠本 周平	佐々木 大亮
	内視鏡	午前	中田 成紀 向坂 健佑 佐々木 大亮	松山 太一 佐々木 大亮 山本 祐弥	松山 太一 山本 祐弥 楠本 周平	中田 成紀 石井 将太郎 向坂 健佑	石井 将太郎 山本 祐弥 楠本 周平
		午後	中田 成紀 向坂 健佑 佐々木 大亮 楠本 周平	石井 将太郎 松山 太一 山本 祐弥 楠本 周平	中田 成紀 松山 太一 山本 祐弥 楠本 周平	中田 成紀 石井 将太郎 向坂 健佑 佐々木 大亮	石井 将太郎 松山 太一 山本 祐弥
		腹部超音波	杉 和洋	楠本 周平	向坂 健佑	山本 祐弥	杉 和洋
心血管センター (循環器内科)	新患	木村 優一 山村 智	奥野 佑樹 (隔週) 玉野井 俊介 (隔週)	片山 哲治	田山 信至	藤本 和輝	
	再来	田山 信至	藤本 和輝	山村 智	奥野 佑樹 玉野井 俊介 白尾 友宏	片山 哲治 木村 優一	
(心血管外科)		手術日	岡本 健	田中 睦郎	手術日	岡本 健	
精神・神経科	初めての方						
	2回目からの方						
小児科	診察	水上 智之	渡邊 優	水上 智之	水上 智之	渡邊 優	
	免疫	水上 智之		水上 智之	水上 智之		
	血液	石田 昌宏		横山 智美		石田 昌宏	
	アレルギー		渡邊 優		緒方 美佳		
外科		東 孝暁 日高 香織 (隔週)	水元 孝郎 松本 克孝 中村 健一	岩上 志朗	宮成 信友 松石 梢	久保田 竜生 丸野 正敬	
	脳神経センター (脳神経外科)	中川 隆志 大塚 忠弘	手術日	田嶋 恒三 大塚 忠弘	中川 隆志	伊東山 剛 大塚 忠弘	
(脳神経内科)	1 診	幸崎 弥之助	田北 智裕	高松 孝太郎	小阪 崇幸	津田 幸元	
	2 診	高松 孝太郎	小阪 崇幸	津田 幸元	幸崎 弥之助	田北 智裕	
	院内コンサルト	津田 (麻)	津田 (麻)	津田 (麻)	津田 (麻)	津田 (麻)	
整形外科	午前	福元 哲也 福田 和昭 寺本 周平	手術日	福元 哲也 前田 智 福田 和昭	手術日	前田 智 中馬 東彦	
	午後	福元 哲也 福田 和昭 寺本 周平		大島 慶久		満瀬 葉介 中馬 東彦	
泌尿器科	前田 喜寛 矢野 大輔	菊川 浩明 鮫島 智洋 村上 栄敏	担当医 (手術日) (紹介のみ)	前田 喜寛 矢野 大輔 東 俊之介	高橋 菊川 浩明 えりか / 担当医		
産婦人科	高木 瀬野 みか 優太郎	山本 直 杉野 麗花	手術日	高木 瀬野 みか 優太郎	山本 直 杉野 麗花		
感覚器センター (眼科)	榮木 大輔 幸野 理久 中西 美穂	(手術日)	榮木 大輔 幸野 理久 中西 美穂	(手術日)	榮木 大輔 幸野 理久 中西 美穂		
感覚器センター (耳鼻咽喉科)	手術日	上村 尚樹 寺田 夕希	手術日	担当医	上村 尚樹 寺田 夕希		
感覚器センター (皮膚科)	初診 (紹介あり)	中原 智史	牧野 公治	石橋 卓行	担当医 (手術日)	哈 斯塔 (ハスタ)	
	再診 (初診 その他)	中原 智史 石橋 卓行	牧野 公治 哈 斯塔 (ハスタ)	中原 智史 石橋 卓行		牧野 公治 哈 斯塔 (ハスタ)	
難治性皮膚疾患治療センター	月・水・木のみ、午前10時～、1日1例限定 詳細は、熊本医療センター皮膚科 Web サイトをご覧ください。						
形成外科	(午 後)	大島 秀男 (リンパ浮腫外来)	(午 後)	手術日	(午 後)	(午 後)	
		東野 哲志 堺 菜穂 蓮田 敏也	担当医 (紹介のみ)	大島 秀男 東野 哲志 堺 菜穂 蓮田 敏也	大島 秀男 堺 菜穂 蓮田 敏也		
放射線科	治療 (予約制)	富高 悦司、吉村 文博					
	画像診断	根岸 孝典、浅尾 千秋、伊藤 加奈子、井上 聖二郎、神戸 あゆみ、吉村 文博、吉松 俊治					
麻酔科	宮崎 直樹 (術前診察 / 麻酔相談)					(午前のみ) 瀧 賢一郎 (麻酔相談)	
緩和ケア外来	磯部 博隆	磯部 博隆	磯部 博隆	磯部 博隆	磯部 博隆	磯部 博隆	
歯科 口腔外科	中島 健 谷口 広祐 天本 晋輔 上田 夏野	中島 健 谷口 広祐 (隔週) 中尾 美文 天本 晋輔 (隔週) 上田 夏野	谷口 広祐 天本 晋輔 上田 夏野	中島 健 谷口 広祐 天本 晋輔 上田 夏野	中島 健 谷口 広祐 天本 晋輔 上田 夏野	中島 健 谷口 広祐 天本 晋輔	
	櫻井 聖大 洪沢 崇行 橋本 聡 松本 克孝 國友 耕太郎 吉村 文孝 深水 浩之 杉野 大樹 大本 寛之 伊藤 明日香	櫻井 聖大 洪沢 崇行 橋本 聡 國友 耕太郎 久保崎 順子 深水 浩之 杉野 大樹 大本 寛之 伊藤 明日香	櫻井 聖大 洪沢 崇行 橋本 聡 松本 克孝 深水 浩之 文村 文彦 杉野 大樹 大本 寛之 伊藤 明日香	櫻井 聖大 洪沢 崇行 橋本 聡 松本 克孝 深水 浩之 杉野 大樹 大本 寛之 伊藤 明日香	櫻井 聖大 洪沢 崇行 橋本 聡 松本 克孝 深水 浩之 杉野 大樹 大本 寛之 伊藤 明日香	櫻井 聖大 洪沢 崇行 橋本 聡 松本 克孝 深水 浩之 宮内 大介 杉野 大樹 大本 寛之 伊藤 明日香	
救命救急センター	ストーマ		認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師	
	がん看護	認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師	
看護外来	移植後フォローアップ	担当看護師	担当看護師	担当看護師	担当看護師	担当看護師	

(注) 担当医は都合により変更することがあります。 手術日はお待たせする場合がございますので、御了承ください。

R6/3/1